

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4 年 5 月 6 日

事業所名 運動発達支援スタジオ笑みりい〜羽曳野

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	運動療育ということもあり、訓練室には不要なものを設置せず、十分なスペースを確保しています。	
	2 職員の配置数は適切である	100%	0%		
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	訓練室はフラットです。視覚的にもわかりやすいように写真や絵を壁や床に貼っています。	玄関のみに段差があるので、色テープを貼りわかりやすく改善します。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	50%	50%		定期的にPDCAサイクルを意識した支援ができるよう呼び掛けていきます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	保護者様からのご意見に対しては、素早く対応させていただいています。	保護者様からのご意見に関してはこれからも迅速に対応させていただきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	ホームページにて公開をしています。	オフィシャルのLINEを有効活用していきます。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	67%	33%	相談支援員さんや役所関係の方の訪問、見学などを受け、情報交換をさせていただいています。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	定期的に研修を行っています。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	お子様の成長にあった個別支援計画書を作成するため、必ず面談(電話面談も含む)を実施し、今、必要としている支援は何なのか?を一緒に考えお子様の希望や保護者様のニーズをくみ取り作成するよう心がけています。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	67%	33%	評価しやすいようにアセスメントシートを用意し、職員と共有しています。	全ての職員がお子様の状況をしっかりと評価できるように情報共有をしていきます。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	定期的に職員全員で支援会議を開いています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	常に、お子様が楽しく活動できるような内容を職員で話し合いをしています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	祝日はイベントプログラムを企画し、普段取り組めないような内容を提供させていただいています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	83%	17%		個別活動、集団活動の両面からの支援内容の作成を意識していきます。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	毎日、朝礼の中で利用児さんの確認をし、支援内容を共有しています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	毎日、終礼でその日の振り返りを行い、支援内容を確認し共有しています。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	毎日、支援内容を記録し、保護者様とも情報を共有し支援記録を個人ファイルで管理しています。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	定期的に職員全員で支援会議を開き、お子様の状態を共有しています。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	0%			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	83%	17%	サービス担当者会議にはお子様の様子を理解した者が必ず参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	67%	33%		送迎時のトラブルなどが発生した場合は、必ず保護者様と学校へ連絡を入れ、情報を共有させていただきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			該当児がいません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	83%	17%	保護者承諾のもと、園での様子の見学、送迎時などに情報の共有などを行い、先生方と連携を図っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	事前に学校の先生と送迎の打ち合わせをさせていただき、利用時の様子をお伝えしています。	情報共有を継続していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	定期的に情報共有しお子様や保護者様の様子を確認しています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	33%	67%		決まったプログラム内容なので、そのような機会を設けることが難しいのが現状ですが、実現できるよう努めてまいります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0%	100%		参加できるよう努めてまいります。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	連絡ノートや送迎時にお話をさせていただき、必要に応じて電話で報告をさせていただいております。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	83%	17%	保護者様からの相談ごとなど、その場で対応させて頂いたり、一度事業所に持ち帰り職員間で共有し、保護者様に返答させていただいています。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	83%	17%	契約時に説明させていただいています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	年に2回、と必要に応じて、保護者様とお話をさせていただいています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	83%	17%	昨年度は1度保護者懇談会を開催し、保護者様の意見交換の場を提供させていただきました。	今年度も開催を予定しております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	83%	17%	お子様や保護者様からの申し入れなどに対して、迅速に対応させていただき、問題解決へと繋げています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	ホームページやインスタグラムにて日々の活動の様子を随時掲載できるよう努めております。	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	書類等は書庫にて厳重に管理させていただいております。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	67%	33%	意思疎通の難しいお子様とは視覚支援を用いて意思疎通を図っています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	33%	67%		そのような機会を設けることができるよう努めてまいります。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	各種マニュアルを策定しております。社内研修で定期的に職員間への周知を行っております。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	年に2回、訓練を行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	職員への研修を行い、理解を深めています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	該当する利用児はいませんが、身体拘束のマニュアルをもとに必要であれば、保護者様に相談後、個別支援計画書に記載し同意書をご記入いただいた上で実施、経過、記録します。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	ものを食べる機会がほとんどありません。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	何かあった場合はヒヤリハットを記入してもらい、職員間で情報共有を行っています。	